

# くらし・福祉優先の県政に



日本共産党

## 岡野恵美 議員

6月10日の県議会本会議で、岡野議員は一般会計補正予算に対する質疑に立ちました。  
 岡野議員は、2つの問題点を質しました。一つは、学力テストの結果を民間業者に分析を委託する予算800万円について、二つ目は、航空宇宙産業の人材育成を地域創成の交付金を活用して行う1億2020万4千円の予算についてです。  
 学力テスト導入でますます教師が忙しくなっています。学力テストで三重県の子どもの学力が全国の平均正答率を3年連続下回ったことを大問題ととらえて

県議会6月定例会議は6月30日、15年度一般会計補正予算など27議案を原案通り可決しました。  
 日本共産党は、一般会計補正予算など5議案に反対し、22議案と5つの請願、6つの意見書に賛成しました。

### 学力テスト問題、人材育成事業で 議案質疑

いる鈴木知事の意向で、決めたものです。さらに、教師が子どもたちにむきあう時間を減らすことになる指摘しました。  
 航空宇宙産業の人材育成は、エアバス社やボーイング社の認証の取得などのための一人あたり286万2千円・42人分の経費です。この分野には、軍事装備品も入っています。  
 岡野議員は、「いま三重県民は介護の人材不足で困っている。航空宇宙産業ではなく、他県のように介護人材育成に力を入れるべきだ」と訴えました。

### 安保法制の慎重な審議を 求める意見書が可決 —岡野議員が賛成討論

6月16日の本会議で、「安全保障法制の慎重な審議を求める意見書」が賛成多数で可決されました。  
 岡野議員は、国会で議論されている安保法制には「3つの危険性を持っている」と発言。「安倍政権が『海外で競争する国』への道を暴走しようとしている」と指摘しました。  
 最後に、「私は自衛隊の基地のある津市選出の県議会議員です。母親の一人を殺し、殺される」ことのないようにしていただきたい」と岡野議員は賛成討論しました。

表決結果	共	み	み	み	自	自	公
27年度三重県一般会計補正予算(第1号)	×	○	○	○	○	○	○
県税条例の一部を改正する条例案	×	○	○	○	○	○	○
マイナンバー関係の3つの条例案	×	○	○	○	○	○	○
その他 22議案	○	○	○	○	○	○	○
安保法制の慎重な審議を求める意見書	○	○	○	○	×	×	×
雇用の安定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○
年金積立金の安全かつ確実な運用等に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○
子ども・一人親家庭・障がい者の医療費窓口無料を求めることについて	○	○	○	○	×	×	×
TPP交渉について(慎重に協議をすすめることを求める)	○	○	○	○	×	×	×
米価暴落対策について	○	○	○	○	×	×	×
県残土条例制定を求める件について	○	○	○	○	×	×	×
人種差別を煽動するヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化対策を求めることについて	○	○	○	○	×	×	×



6月定例会議に審査され採決した議案などにおける、津市選出議員の賛否の状況

(敬称略) ※共は日本共産党、みは新政みえ、自は自民党、公は公明党



ご意見・ご要望をお寄せ下さい

### 日本共産党 岡野恵美県議会報告

発行/県議会・日本共産党  
 〒514-8570津市広明町13番地  
 電話:059-224-3302  
 FAX:059-224-3303  
<http://kengidan.jcp-mie.jp/>

2015年  
 夏季号



伊賀市で行われた「川上ダム」問題の学習会に参加。市民のみなさん50名と、県議3名が参加。



県道の水が団地に流れ込むなど、水害に苦しめられている問題で、地元市議・自治会長さんと県へ要望。

### 県民のみなさん びっしょりに

# 日本共産党2議席回復で 県民の声が届いた 三重県議会



今年の県議会議員選挙で、津市の岡野恵美県議と四日市市の山本りか県議が誕生しました。三重県議会での4年ぶりの日本共産党議席の回復で、三重県議会にも大きな変化が...

## 議会改革

### 議会運営で正・副議長に申し入れ 海外視察の廃止など改善要望

日本共産党議員団はさつそく「議会運営」と「政務活動費」について議長、副議長に申し入れました。

①議会運営委員会や代表者会議への2名会派からの参画、②般質問時間の分割、③般質問の時間枠の拡大（現在1年間で1人60分）、④政務活動費による海外視察（旅行）の廃止、⑤宿泊料・公務雑費の実費支給です。

昨年までは、2名会派からも、議会運営委員会・代表者会議に参画していました。今年は、改選前のメンバーで議会運営委員の削減などを決めてしまいました。小教会派を排除する扱いは許せません。「議会改革先進県」の名に恥じないよう見直すべきです。



正・副議長に申し入れ 5月15日

## 平和

### 安保法制の慎重審議を求める意見書可決 ―自民系・公明が反対

「戦争する国づくり」を許すのかが問われている中で、三重県議会は「安全保障法制の慎重な審議を求める意見書」を賛成多数で可決しました。県議会では全国の中ではじめてのことでした。意見書は「結論ありきで法改正を強行しようとする政府の姿勢は容認できない」として、「今の通常国会での改正法の成立にこだわらず、国会での審議を慎重かつ丁寧に進めるよう要請」しています。

多くの国民が「今国会での成立に反対」しています。三重県議会が県民の代表としてその意思を示すことができました。



## 福祉・医療

### 2人の日本共産党議員が紹介議員に 福祉医療費の窓口無料請願採択

6月定例会会議で、日本共産党議員団は6本の請願の紹介議員となりました。「子ども・一人親家庭・障がい者の医療費窓口無料を求めることについて」は、11305名もの署名とともに提出され、県民の願いは切実です。請願は賛成多数で採択されました。

日本共産党議員団は、一般質問でもこの問題をとりあげ、窓口無料化を求めました。全国では当たり前前の医療費の窓口無料化実現めざし、引き続き県民のみなさんと頑張ります。



請願者のみなさんと 6月30日

## 県政を しっかり チェック

日本共産党議員団は、県民の暮らしを守るためにしっかりと発言しています。反対討論では

### 〔三重県県税条例等改正案〕

●「儲かり企業に減税、赤字企業は増税」となる、2年続けての外形標準課税の強化は中小企業に大打撃。景気回復がさらに遠のく。

●消費税の10%増税を明記。県の消費税増税分126億円のうち、社会保障関連充実分はわずか47億円。「福祉のための増税」はごまかしです。

### 〔マイナンバーの導入に関する3案例案〕

●日本年金機構の個人情報流出事件など問題が浮き彫りに。プライバシーの侵害とともに、扱う自治体や業者にとっても、経済的・精神的に大きな負担となる。

三重県議会は、女性県議が3人から今期6人(12%)と倍増。女性の願いをくみ取って施策につなげたいと、議長・副議長と意見交換会をおこないました。  
日本共産党は、衆参で女性国会議員の比率が31.3%。地方議員も38.8%で主要政党の中でトップです。



ご意見・ご要望を  
お寄せ下さい

電話：059 - 224 - 3302

FAX：059 - 224 - 3303

<http://kengidan.jcp-mie.jp/>

# 子ども医療費など 窓口無料など 県民のねがい届ける

6月県議会



**日本共産党**

**山本りか**

**議員**

## 初の一般質問 知事に公約実現させる

山本りか県議は子ども・一人親家庭・障がい者の医療費について質問しました。

日本共産党が40年以上、その実現に取り組んできたと前置きし、「年齢拡大が進んできた今『窓口無料』こそ望まれている。導入が進み、来年度には全国で窓口無料を実施していないのは6県だけになる。最後の1県になるまで実施しないのか?『すごいやんか三重県』でなく『ひどいやんか三重県』となってしまう」と、鈴木知事に実施を強く迫りました。

知事は「窓口無料導入で受診が増えて、県や市町の医療費負担が

増える。国からのペナルティで交付金が減らされるので市町の負担が増える。給付と負担のバランスを勘案しつつ、引き続き検討していく」と述べるにとどまりました。

## 子育て支援を言ったら 窓口無料こそと 重ねて要求

「裏返せば、今、受診抑制をしているということだ。お金がなくて医療を受けることができず、重篤化して苦しんだり、命を落とすようなことが誰一人としてあつてはならない。ペナルティがあつても実施している都道府県があるのだからできないはずはない。

あらゆる手段を使って実施へ向かうべきだ」と強調。

さらに三重県の小中学校で、歯科検診の結果、治療が必要とされても治療がなされず、17歳で未処置歯を有する生徒は35・4%となっていることを紹介し、窓口無料こそ必要と訴えました。



## 自衛隊の 任務が変わる それでいいの

山本りか県議は、昨年の自衛官募集パンフレットの表紙に、全国で三重県だけが県教育委員会名を掲載したことを取り上げ、若者を戦場に送ることに手を貸すのはやめよと要求しました。

## 焼け跡に芽ぶく 木の芽のあるごとく 吾子の命帰らぬものか (白蓮)

教育委員長長の答弁で、報告のみで教育委員会会議での議論などがなかったことが明らかになりました。また「職業選択肢の一つとして考えている」と答えました。

山本県議は「かつて『戦争は教室からつくられた』と言われ、その反省から教育委員会ができた」と強調し、「自衛隊の任務がかえられようとしている中、その危険性は一般の職業選択のリスクどころではなく、殺し殺される戦場へ、若者を送ることは許されない。教育委員会の中に問題とする意識がないことが問題である。教育委員会のあり方にもかかわるこの問題をしっかりと考えていただきたい」と、柳原白蓮の詩を紹介し、自衛隊のみなさんも含め誰ひとり戦場へ送らないと訴えました。

6月定例会月会議の議案などにおける、 四日市選出議員の賛否の状況		表決結果		議員						
上程 議案 27件	議案 27件	可決	採択	山本りか	芳野正英	田中智也	稲垣昭義	石田成生	津田健児	山内道明
平成27年度三重県一般会計補正予算(第1号)	48対2	可決		×	○	○	○	○	○	○
三重県県税条例等の一部を改正する条例案	48対2	可決		×	○	○	○	○	○	○
マイナンバー法導入にかかわる3つの条例案	47対3	可決		×	○	○	○	○	○	○
その他 22議案	全会一致	可決		○	○	○	○	○	○	○
安全保障法制の慎重な審議を求める意見書	27対23	採択		○	○	○	○	○	×	×
雇用の安定を求める意見書	全会一致	可決		○	○	○	○	○	○	○
年金積立金の安全かつ確実な運用等に関する意見書	全会一致	可決		○	○	○	○	○	○	○
子ども・一人親家庭・障がい者の医療費窓口無料を求めることについて	27対23	採択		○	○	○	○	○	×	×
TPP交渉について(慎重に協議をすすめることを求める)	28対22	採択		○	○	○	○	○	×	×
米価暴落対策について	27対23	採択		○	○	○	○	○	×	×
三重県残土条例制定を求める件について	30対20	採択		○	○	○	○	○	×	×
人種差別を扇動するヘイトスピーチ対策について	29対21	採択		○	○	○	○	○	×	×
を含む強化策を求めることについて				○	○	○	○	○	×	×



ご意見・ご要望をお寄せ下さい

## 日本共産党 山本りか県議会報告

2015年  
夏季号

発行/県議会・日本共産党  
〒514-8570 津市広明町13番地  
電話 : 059-224-3302  
FAX : 059-224-3303  
E : rikachan@cty-net.ne.jp  
http://kengidan.jcp-mie.jp/  
http://rika.jcpweb.net/

(敬称略) ※共は日本共産党、みは新政みえ、自は自民党、公は公明党

# 日本共産党2議席回復で 県民の声が届いた 三重県議会



今年の県議会議員選挙で、津市の岡野恵美県議と四日市市の山本りか県議が誕生しました。三重県議会での4年ぶりの日本共産党議席の回復で、三重県議会にも大きな変化が...

## 議会改革

日本共産党議員団はさっそく「議会運営」と「政務活動費」について議長、副議長に申し入れました。

- ①議会運営委員会や代表者会議への2名会派からの参画、②一般質問時間の分割、③一般質問の時間枠の拡大（現在1年間で1人60分）、④政務活動費による海外視察（旅行）の廃止、⑤宿泊料・公務雑費の実費支給です。

昨年までは、2名会派からも、議会運営委員会・代表者会議に参画していました。今年は、改選前のメンバーで議会運営委員の削減などを決めてしまいました。小教会派を排除する扱いは許せません。「議会改革先進県」の名に恥じないよう見直すべきです。



正・副議長に申し入れ 5月15日

## 平和

### 安保法制の慎重審議を求める意見書可決 —自民系・公明が反対

「戦争する国づくり」を許すのかどうか問われている中で、三重県議会は「安全保障法制の慎重な審議を求める意見書」を賛成多数で可決しました。県議会では全国の中ではじめてのことでした。意見書は「結論ありきで法改正を強行しようとする政府の姿勢は容認できない」として、「今の通常国会での改正法の成立にこだわらず、国会での審議を慎重かつ丁寧に進めるよう要請」しています。

多くの国民が「今国会での成立に反対」しています。三重県議会が県民の代表としてその意思を示すことができました。



## 福祉・医療

### 2人の日本共産党議員が紹介議員に 福祉医療費の窓口無料請願採択

6月定例会月会議で、日本共産党議員団は6本の請願の紹介議員となりました。「子ども・一人親家庭・障がい者の医療費窓口無料を求めることについて」は、11305名もの署名とともに提出され、県民の願いは切実です。請願は賛成多数で採択されました。

日本共産党議員団は、一般質問でもこの問題を取りあげ、窓口無料化を求めました。全国では当たり前の医療費の窓口無料化実現めざし、引き続き県民のみなさんと頑張ります。



請願者のみなさんと 6月30日

## 県政を しっかり チェック

日本共産党議員団は、県民の暮らしを守るためにしっかりと発言しています。反対討論では

### 三重県県税条例等改正案

●「儲かり企業に減税、赤字企業は増税」となる、2年続けての外形標準課税の強化は中小企業に大打撃。景気回復がさらに遠のく。

●消費税の10%増税を明記。県の消費税増税分126億円のうち、社会保障関連充実分はわずか47億円。「福祉のための増税」はごまかしです。

### マイナンバーの導入に関する3条例案

●日本年金機構の個人情報流出事件など問題が浮き彫りに。プライバシーの侵害とともに、扱う自治体や業者にとっても、経済的・精神的に大きな負担となる。

三重県議会は、女性県議が3人から今期6人(12%)と倍増。女性の願いをくみ取って施策につなげたいと、議長・副議長と意見交換会をおこないました。日本共産党は、衆参で女性国会議員の比率が31.3%。地方議員も38.8%で主要政党の中でトップです。



ご意見・ご要望を  
お寄せ下さい

電話：059 - 224 - 3302  
FAX：059 - 224 - 3303  
<http://kengidan.jcp-mie.jp/>